

かけはし

康子

No.157
2019.8

岩手県倫理法人会ニュースレター 令和元年8月



紫波・矢巾準倫理法人会開設式典・祝賀会 8月3日(土)

紫波・矢巾開設式典 目標達成記念式典	〇〇〇〇	1, 2
倫理経営講演会報告特集	3, 4
会員さん紹介コーナー 遠野・盛岡みなみ	5
青年委員会事業報告・倫理経営塾卒塾式報告	6
突撃!隣のモーニングセミナー・おらほの食自慢	7

令和元年8月3日（土）、矢巾駅西口のケアセンター南昌様に於いて87名の参加により紫波・矢巾準倫理法人会の開設式典が行われました。

工藤隆雄副会長の開式の言葉、国歌斉唱に続き、紫波・矢巾準倫理法人会、小川隆夫専任幹事より次のように経過報告がありました。「平成元年に又川俊三相談役が盛岡市倫理法人会を始めてから県倫理法人会はこれまで12単会で活動してきました。以前、この地区に新単会を立ち上げようと熱心に活動して頂いた時の先輩たちの思いも込めて今回、県内13番目の単会として産声を上げることができました。万感の思いが致します。開設までの経過として、宮澤会長が全国7万社会議で約束し岩手県役員会で発表、4月30日に新単会開設準備委員会を立ち上げました。紫波・矢巾地区の企業等社数、約三千社から会員、友人、各団体からのご協力を頂き、会員候補企業名簿を作成、週に2～3回の普及活動、連日の訪問等を実施致しました。この度57社で準倫理法人会を開設、素晴らしい仲間に来て感動しておりますし2月までには100社達成し更に皆様と一緒に盛り上げていきたいと思っております。」

続いて、認可書が授与され、役職者に辞令が交付されました。一般社団法人倫理研究所法人局理事、藤崎正剛文化部部長より、「開設おめでとうございます。今日までのご努力に心からの敬意を表します。新単会の役員の皆様には辞令を高くかけ全身全霊で取り組んで頂きますようお願いいたします。研究所は間もなく74周年、人としての生活法則、純粹倫理を实践、普及することで公共の利益を追求する社会教育団体です。倫理法人会は昭和55年10月1日、千葉県倫理法人会を第一号として39年目を迎え712か所の活動拠点を有しており、紫波・矢巾準倫理法人会は713か所目の単位倫理法人会として誕生します。これはひとえに会友の情熱溢れる真心の結晶です。岩手県倫理法人会は盛岡みなみ倫理法人会開設以来18年ぶりの新単会という新たな歴史を作られました。新単会の皆様には日本をよくするという目的実現に向けてこの学びを地域に広げるべく佐々木会長のもと進んでいかれることを期待申し上げます。宮澤県会長、又川相談役を始め、開設に携わってくださった皆様、お祝いにかけてくれた単会会長、倫友の皆様の御発展、家庭のご幸福を御祈り申し上げます」と式辞を頂きました。

佐藤美幸副幹事長による祝電披露、紫波・矢巾準倫理法人会の佐々木和彦会長より「暑い中、ご出席頂きまして有難うございます。皆様の御協力をもって当会を開設させて頂くことができました。関わって下さった皆様にご心より感謝申し上げます。この開設を機に会員企業様の繁栄と社員・家族の皆様の幸せの実現のために努力して参ります。今後とも皆様のご理解・ご協力をお願い致します」と謝辞が述べられました。

その後、レストラン文化様で、78名の参加により懇親会が賑やかに行われ、開設のお祝いと会の発展を祈念し英気を養いました。

岩手県倫理法人会 広報委員長 中村 夢美子



6/14 令和元年度 岩手県倫理法人会目標達成式典

令和元年6月14日(金)、15時から、盛岡駅前のホテルメトロポリタンニューウイングにおいて岩手県倫理法人会目標達成式典が県内各地から67人が参加し行われました。

普及目標達成式典は、工藤隆雄副会長の開式のことば、国歌斉唱でスタート。経過報告として、はじめに及川元一幹事長からこの一年の普及活動について、この日現在で確認されている会員社数が1,159社、8月19日の最終締切まで2か月、引き続き普及活動に取り組んでいきましょうと話されました。

続いて各委員会より一年間の活動についての報告があり、普及拡大委員会からは、各単会を訪問し単会とともに精力的に活動している様子が報告されました。

次の、単会会長による成果報告として普及活動についての取り組みや日頃の活動の様子が多彩に報告され、特に「目標は〇〇です」と他単会名を名指すシーンでは参加者から激励のエールが送られていました。

また、目標達成単会表彰として、165社達成により北上市倫理法人会の阿部修自会長が受賞し盛大な拍手に包まれました。

続いて一般社団法人倫理研究所法人局普及事業部主席 那須隆 北海道・東北方面長より「社会的に縮小傾向の中にあって普及活動に取り組むことには苦労が多いことと思ひ日頃の取り組みに感謝します。浸透率の点で47都道府県中、岩手県はベスト10。さらにどうすれば倫理の良さを伝えていけるかは経営者の腕の見せ所とも言えます。新単会の開設とともに、さらなる普及活動にお力添えを頂きますようお願いします」と式辞を頂きました。

その後、宮澤俊次岩手県倫理法人会会長より、「皆さんにご協力頂き紫波・矢巾の新単会開設に向けての取り組みを苦戦しながらも行っていきます。6月10日には伊藤俊郎法人スーパーバイザーを迎えて経営者の集いを行いました。講話者より参加者一人ひとりにお礼状を頂きこれぞ真のおもてなしの心と実感しました。新単会開設の成功と共に8月19日までに、県一丸となって期首の1,173社に戻し更に前進していく取り組みを諦めずに行っていきましょう」と挨拶があり、角田直樹副会長の閉会のことばで結びとなりました。

その後の懇親会では普及活動や日頃の活動についての情報交換をしながら和やかな時間を過ごし今後の活動への活力となりました。

岩手県倫理法人会 広報委員長 中村 夢美子



倫理経営講演

北上

3月4日(月) 18:30より、ホテルシティプラザ北上において、平成31年度倫理経営講演会が開催されました。今年度は144名の参加をいただき、成功裡に開催することが出来ました。

第一部は「ゆるす」をテーマに、山梨県つる倫理法人会相談役 小俣政英氏に事業体験報告をいただきました。言われたことを実践する心の難しさと、実践により正しさが証明された事の、貴重な体験談でした。

第二部は法人局普及事業部 部長 和田毅氏による「大転換の時代一岐路に立つ」をテーマに講話いただきました。大変な時代が来ていることを、色々な事例を引用し講話しておりましたが、一番印象に残ったのは「倫理法人会に入会してください」を最後の締め言葉としたことでした。

講演会終了後の懇親会も、沢山のご参加をいただき楽しい時間を過ごしました。

北上市倫理法人会 広報委員長 菅原 かずみ



講演 和田 毅氏



事業体験報告 小俣 政英氏



事業体験報告 西方 勝一郎氏



講演 佐藤 光央氏



平成31年倫理経営講演会が4月17日(水)桜が咲き青葉が芽を吹きさわやかな緑が目映る日に 浄土ヶ浜パークホテルに於いて開催されました。

宮古

単会の会員様にもご参加を頂き、平成最後の倫理経営講演会になり参加者は80社129名の参加を頂きました。事業体験報告 西方勝一郎氏の「夢を受け継ぎ50年～報恩の実践～」会社設立から、社員、設備投資等の熱の入った体験発表にご参加の皆さんは聞き入って居る様子でした。

法人アドバイザー佐藤光央氏の講演内容は、倫理法人会の内容等解り易い説明を頂き自らの体験を講演して頂きました。

お二方の熱演で、ご参加の皆さんと一つになった様に感じました、そして講師の講演の内容がとても優しく解りやすかったとの感想を頂きました。

宮古市倫理法人会 広報委員長 飯岡 幸子

会報告特集

盛岡

4月25日(木)アートホテル盛岡(旧ホテル東日本盛岡)にて、当会の平成31年度倫理経営講演会が開催され、122名の参加となりました。

講演では、法人局より中西通夫スーパーバイザー、そして事業体験報告では、新潟県倫理法人会阿部ムツ子幹事をお迎えし、ご講演をいただきました。阿部ムツ子幹事の講演では、倫理指導からの気づきを素直に受け入れ、実践に活かすことによって境遇が変わっていくさまを実体験を基に話されていました。また、中西通夫スーパーバイザーの講演では、倫理との一番最初の出会いがなんと偶然にもこの盛岡市倫理法人会のモーニングセミナーにたまたま出たことだったことや、4人の男のお子さんとの触れ合いを倫理のテーマを基にコミュニケーションを取っていることをユーモアを交えて話されていました。そして、一番印象に残ったのが、倫理を深めるのであれば「やるか」「やらないか」ではなく「やるか」「するか」という一歩踏み込んだ気の持ちようが必要であることを説いていたことでした。終始、中西通夫スーパーバイザーの圧倒されるような声の大きさと勢いで会場内の参加者は熱心に聴き入っていました。その後の懇親会も多くの方にご参加いただき盛會に終えることができました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

岩手県倫理法人会 広報副委員長 津田 徳明



事業体験報告 阿部 ムツ子氏



講演 中西 通夫氏

「令和元年度倫理経営講演会を終えて」

令和元年5月22日、奥州市倫理法人会の倫理経営講演会を開催しました。準備不足ではありましたが、75名の皆様に聴講頂きました。

奥州

事例体験報告では、村井英夫群馬県倫理法人会会長が自らの倫理実践からの企業改造という視点で、せっかくならやると決めて動くことで、周りも助けてくれるという経験をお話し頂きました。講演では、法人局参事の山田憲市法人アドバイザーから、今の転換の時代には、予期せぬことが起こるため、常識は通用せず、その時々々の決断が重要となること、その場合も明るさと謙虚さが重要であるとお話し頂きました。聴講された皆様も真剣にお二人のお話に終始耳を傾け、充実した講演会となりました。

講演会終了後は講師を囲んで懇親会を行い、さらに突っ込んだお話しをお聞きするなど、終始和やかな雰囲気各々が親睦を深めることができた充実の講演会だったと思います。

奥州市倫理法人会 専任幹事 及川 健



講演 山田 憲市氏



遠野の元気印

【有限会社 ミライシステム 代表取締役 井手 修さん

一 会社創業から今までの歩みについて

先代が電気工事業を開業して24年になります。
私が会社を引き継ぎ6期目を迎えました。
小さな会社ではありますが機動力を活かし、お客様のご要望にお応えして参ります。

一 倫理法人会入会のきっかけ

元々は先代が入会しておりました。活動は殆どしておりませんでした。私が会社を継いで2年ほど経った頃、小玉会長就任に伴い広報委員長の役員を頂いたのがきっかけです。

始めは軽い気持ちで臨んでいましたが、モーニングセミナーへ参加して単会の方々と講話を通じて、心の在り方や実践する事の大切さを学び岩手倫理経営塾へ入塾し、塾生として富士研に参加する事も出来ました。

一 倫理法人会に入会してからの変化

まずは単会での役割を担い法人会活動を通じ自分自身も成長し、少しでも単会のお役に立てればと思ひ、モーニングセミナーへは欠かさず参加しております。

また、岩手倫理経営塾へ入塾し無事、卒塾出来た事です。

今後も法人会活動を中心に微力ながら岩手倫理経営塾へ関わり、少しでも恩返しできればと思ひます。

一 倫理法人会で学んでいる事で、会社の経営に活かしていること

率先して挨拶をする事や、気付いたらすぐに行動する事を心掛け、小さな実践の積み重ねを大切にしております。

また、心を先行する事を忘れずに感謝の心を持って行動し携わる方々を大切にします。

一 今後、会社で新たに取り組みたいこと又は取り組み始めていること

岩手倫理経営塾へ入塾して目標の1つでありました、経営理念を作成しました。

今後は経営理念の実現に向けて社員一丸となり取り組むと共に、社会へ貢献できればと思ひます。

倫理法人会活動を通じ、新たな組織作りに活かして参ります。

インタビュー / 遠野市倫理法人会 広報委員長 菊池 章好

**岩手倫理経営塾
発表会並びに卒塾式**



**盛岡
みなみの元気印**

【佐藤電機工業株式会社 代表取締役 佐藤 伸一さん

(〒020-0863 岩手県盛岡市南仙北 2-24-10 TEL 019-636-0574)

今回ご紹介するのは、4月23日の盛岡みなみ倫理経営講演会で、「朝礼実演」をご披露頂いた、佐藤電機工業株式会社様です。創業は大正11(1922)年で、もう少して100年を迎えます。自動車用のバッテリーの販売と電装品修理を事業内容とし、最近ではドライブレコーダーの販売・取付を積極的に展開しています。お話は代表取締役 佐藤伸一様にお伺いいたしました。

一 倫理法人会入会のきっかけ

現在県の会長・宮澤俊次さんがみなみの会長時代に誘われて、平成28(2016)年10月に入会しました。月1度のナイトセミナーには欠かさず出席して参りましたが、昨年8月からモーニングセミナーにも出席するようになりました。

一 「職場の教養」を朝礼で活用してきたそうです

入会して最初に届いた時から、朝礼で輪読して参りました。朝礼の雰囲気も良くなり、これは良いということで、会を継続する要因にもなっています。

一 「朝礼実演」に取り組まれて

柴田会長から「朝礼実演」の依頼を受けて、県の朝礼委員の指導を受けながら活力朝礼を導入し、1か月ほどで「実演」に臨みました。丁度、自動車整備業界でも整備スタッフの接客サービスの向上が求められている中、タイムリーな取り組みとなりました。社員からの提案で朝礼の仕方を工夫し、活力朝礼を実践している会社見学やスマイル・あいさつなどの講習も受講して、以前の朝礼よりも声が大きくなり、活気も出てきてとても効果が上がったと感じています。

インタビュー / 盛岡みなみ倫理法人会 広報委員長 阿部 貴光



会社外観



朝礼の様子



倫理講演会での朝礼実演

「明日も零下」 予報聞きつつ母と我 二月の寒さをココアに溶かす (北上 菅原 莞治さん)

倫理経営実践企業見学

5月16日（木）、青年委員会事業として、株式会社アステム様へ活力朝礼の実施と職場見学を実施しました。宮城県柴田郡にあるアステム様は、空調設備の吹出口やダンパーのメーカーで、お客様の要望を反映した商品の開発・生産のスピード、そして業界ナンバーワンの短納期と製品の品質が評価されている企業です。代表の野口敬志様は、宮城県倫理法人会の倫理経営塾で副塾頭を務められ、自社の経営にも倫理経営を深く取り入れられています。

早速、朝礼の現場を参加者メンバーで拝見させていただきました。ラジオ体操から始まり、経営理念の唱和、当日のリーダーによる職場の教養の読み方とスピーチが行われました。短い時間ながらも、従業員の方々の動きは機敏で全体の調和が揃っており自主的に動いている印象でした。

その後は工場内の作業風景を見学させていただきました。案内を村上購買課長様に行っていただきましたが、アステム様では多能工化の一環で、全従業員を対象に作業内容をジョブローテーションで一通り行うとのこと。各工程班のリーダーの方々にも工程ごとに作業内容を説明いただきました。参加者からは色々な角度から質問がありましたが、的確な返答をしており、従業員教育の浸透を感じられました。



最後の質疑応答の時間では、野口社長からアステムの沿革と自身の家族や従業員とのエピソードを伺い、会社の倒産危機から倫理との出会い、そして倫理経営に至るまでの努力を知ることが出来ました。

参加者全員が、それぞれの視点で自社に活力と健全経営、そして今後の混沌とした時代への戦略の気づきを頂いた事業となりました。

青年委員長 伊藤 紘



第1期岩手倫理経営塾閉講報告



5月12日に経営計画発表会並びに卒業式が行われ、8名の塾生が半年間のカリキュラムを修了し卒業されました。当日は、県外からも講師でお世話になった方々もご参加いただき、総勢61名の参加となりました。

発表会では、①半年間の学びの振り返り ②経営者としての決意 ③経営理念 ④経営ビジョン ⑤経営基本方針をそれぞれ発表し、講師や家族、会社関係者、単会の役員の方々からも激励の言葉を頂きました。

倫理経営塾では、「非日常」「心ぐせ」「徹底」の3つをキーワードにして、自社の経営理念の作成やSWOT分析を通して自社の立ち位置を理解し、これからの戦略や戦術を作ります。さらに、経営者としての人間性を磨くため、富士高原研修センターでの学びや、塾生同士の関りを通して、様々な気づきを得ることができます。その中から自分の心ぐせに気づき、自分では破れない「心ぐせ」の殻を倫理経営塾で破ることにより、今までにはない感覚が訪れ、そんな時に経営理念が完成します。

今回卒業した方々を是非モーニングセミナーの講話者として、倫理経営塾を通して学びや気づきを聞いていただき、単会の活性化や若手経営者の普及拡大のきっかけに繋がればと思います。

最後に、倫理経営塾開催にあたりご支援を頂きました皆様方に、倫理経営塾スタッフ一同、心から御礼を申し上げます。

第1期岩手倫理経営塾 副塾頭 唯是 光裕



しきなみ短歌会
今回の短歌

読書する 喜び吾に教へしは 若かりし母の童話読む声

(盛岡みなみ 兼平 純子さん)



隣のモーニングセミナー 一関市

5/14(火)
ホテルサンルート2階

140名以上の参加者が集まり、大変盛況に終わった一関市倫理法人会の今年の倫理経営講演会。その翌朝のモーニングセミナーは会場を一ノ関駅前のホテルサンルート2階会場に移し、行われました。早朝から役員の皆様が準備され、モーニングセミナー朝礼では女性役員が前に立ち、間違っても明るく元気に素直に、そしてめげずに何度もやり直しをしながら頑張っている姿が印象的でした。そして、チェックリーダーが練習を怠ってはいけませんと厳しく忠告しておられました。それだけを見ても今後素晴らしく伸びる可能性がある会だと感じました。



5分間スピーチでは飯田社長が「苦難は幸福の門」であるということ、実体験を交えてお話しされました。講話では前日の講演会に続き、倫理研究所理事研修室室長の中西康成氏が「純粹倫理と人生」をテーマに何の為に倫理をやっているのか、会社の売上向上、自分自身の向上、そして17ヶ条も自分の為にあると信じ「人生五計」1.生計 2.身計 3.家計 4.老計 5.死計の生き方を話され私自身も大変勉強させていただきました。



その後の朝食は1階のレストランで講師先生を囲んで談笑の中、質問しながらの朝食会で、良い雰囲気の中で終わりました。

北上市倫理法人会広報委員会 副委員長 阿部 則子

おらぼの食自慢

カフェ&バー ルポゼ

今回ご紹介しますお店は大船渡で唯一スープカレーが食べられるルポゼさんをご紹介致します。ルポゼとはフランス語で休息・癒しとのこと、その名の通り店内は木をふんだんに使い夜になればプラネタリウムになるのではと思うくらい天井が高く広々として落ち着いて食事ができる空間です。

スープカレーは店長さんが本場札幌にて修行してきたそうで直伝の味を忠実に表現しているだけあって、味・見た目・栄養のバランス共に店長さんの食へのこだわりが味わえる一皿になっています。種類や辛さが選べるのも楽しみの一つではないでしょうか。

スープカレーを食文化にしたいと思う気持ちが伝わってきますよ。スープカレーのほかにパスタやピラフも人気ですので大船渡にお越しの際はぜひお寄りください。

けせん倫理法人会 広報委員長 平山 栄喜



住所 大船渡市立根町字岩脇4-6
電話 0192-26-7488

つぶやき

先日、今年初の山登りに有志で鞍掛山へ行ってきました。天気もよく清々しい空気を満喫しつつ、一足一足を踏みしめました。

一時間半で辿り着いた山頂での眺望のすばらしきこと。そして、おにぎりの美味しいこと。

ゆっくり歩くスピードだからこそ見えてくるもの、普段何気なく生活していると気付かないことにはっとさせられ、感謝の気持ちがわいてきました。

私自身山歩きの趣味はほとんどなかったのですが、これはクセになりそうです。次は三ツ石岳、七時雨山、東根山あたりに登ってみたいですね。

今度倫友ハイキングなど企画しても楽しいかもしれません。皆様もぜひいかがでしょうか。

盛岡市倫理法人会 広報委員長 高村 明彦



岩手県倫理法人会事務局

〒020-0022 岩手県盛岡市大通 3-1-23 クリエイトビル 300
TEL 019-606-1141 FAX 019-606-1142

「かけはし」に対するご意見・ご感想をお待ちしております。E-mail: info@iwate-rinri.jp